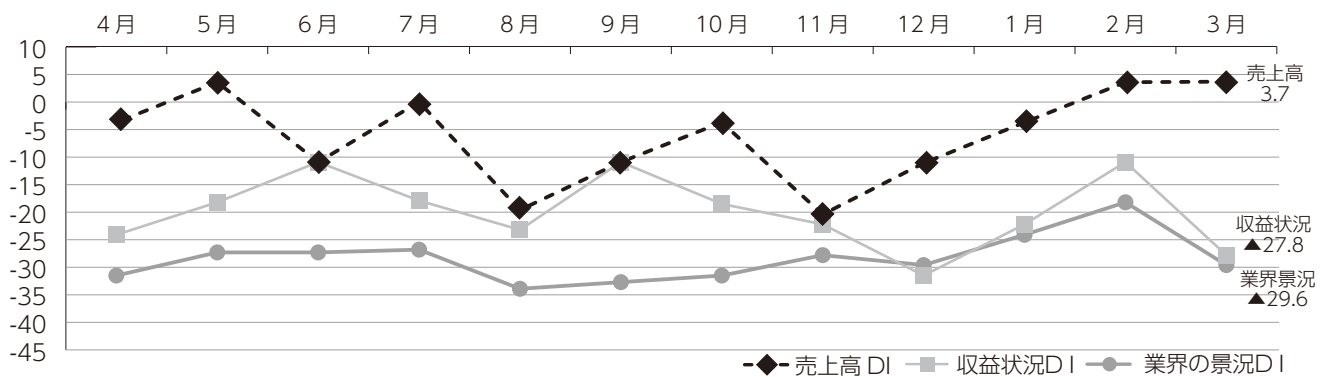


中東情勢の影響が各業種に広がる

概況

中東情勢の悪化を背景とした原油高騰の影響が多業種に及んでいる。機械・金属製造業や建設業では、溶剤・シンナー、ゴム、プラスチック製品等の資材の調達について、価格高騰や品不足等が生じている。一部の業種では、工事遅延や出荷制限が発生しており、事業運営の大きな負担となっている様子が窺える。

主要DIの推移（全体）



景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
製造業	食料品	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	繊維製品	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	窯業・土石	☁	☀	☀	☁	☁	☁	☁	☁
	機械・金属	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
	その他	☀	☁	☀	☁	☁	☁	☁	☁
非製造業	卸売業	☁	☁	☁	☁	☁	—	☁	☁
	小売業	☁	☀	☁	☁	☁	—	☁	☁
	商店街	☁	☁	☀	☁	☁	—	☁	☁
	サービス業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	建設業	☁	—	☀	☁	☁	—	☁	☁
	運輸業	☀	—	☀	☁	☀	—	☁	☁



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

コメント掲示板

《製造業》

食 料 品	<p>【パン】 原材料高に加え、中東情勢の悪化で、石油関連製品の値上がりや物流費、包装資材のコスト増が依然として大きな重荷になっており、販売価格の改定が急務と考えている。</p> <p>【菓子】 行事も多く人が動いたものの、売上高については昨年並みの状況。</p> <p>【製麺】 販売環境は変わらず。荷動きは二極化の傾向が継続。</p>
織 維 製 品	<p>【織物(桐生)】 全体的には慎重な商況が続いており、引き合い件数は減少傾向。七五三等のレンタル用製品は、発注を待っているタイミングだが受注は低調。和装の絹製品は、需要に応じた小口の引き合いが継続している。</p> <p>【外衣・シャツ】 資材等の値上がりと人件費の上昇が収益と景況の悪化に繋がっている。</p> <p>【インテリア】 販売数量は年々下降気味で、物価高による買い控えもあり、軒並み不調。</p>
窯業・土石	<p>【コンクリートブロック】 中東情勢の動向を注視。生産活動に悪影響を及ぼしている。</p> <p>【生コンクリート】 出荷量について、その多くを占める東毛地区や吾妻地区、西毛地区で大幅増加したが、中央地区で大幅減少したため、全体では微減となった。</p> <p>【碎石】 東毛地区は4月の値上がりに伴う駆け込み需要の影響もあり、出荷量・売上高は増加。西毛地区は販売価格が上昇しているため、出荷量は低調だが、売上高は増加。</p>
機 械 ・ 金 属	<p>【めっき】 中東情勢の影響から石油製品の値上がりと溶剤、梱包資材等の調達難を危惧。</p> <p>【機械金属(高崎)】 受注できても短納期の製品加工が多く、継続性、収益性も低い状況。中東情勢による原油高騰の影響が長引かないことを願っている。</p> <p>【電機関連】 塗装で使用するシンナーが国内で不足し、価格が高騰。原料となる原油の約90%がホルムズ海峡を経由して輸入されているため、供給が不安定な状況。</p> <p>【機械金属(太田)】 中東情勢の悪化に伴い、石油を元にした原材料の入手に懸念が生じている。また、小規模企業では人材不足による倒産が見られた。</p> <p>【機械金属(館林)】 原油高騰により、ゴム、プラスチック、シンナー等に影響が出ている。</p>
そ の 他	<p>【家具】 円安の進行による輸入材料の高騰に加え、中東情勢の不安定化から一部の材料費は値上がりが通知されており、影響の長期化による材料不足を危惧している。</p> <p>【紙製品】 中東情勢により、資源・資材関連の不安定な状況が所々に影響し始めている。春からの最低賃金引き上げも加わり、製品への適正な価格転嫁が急務となっている。</p> <p>【印刷】 中東情勢の不安定化による原油高は、原材料価格への影響が危惧されるため、今後の動向を注視している。</p>

《非製造業》

卸 売 業	<p>【紙卸売】 中東情勢の影響が及んでおり、製紙に必要な石油由来の薬品類に供給不安が指摘され、製紙各メーカーも資材確保に奔走している声が聞かれる。</p> <p>【再生資源】 非鉄に関して、高値が続き、相変わらず盗難の可能性はある。古紙に関して、発生量は低調で推移しており、今後増加する可能性も極めて低く、価格も横ばい。</p>
小 売 業	<p>【中古自動車オークション】 中東情勢により、不安要素が多々出てきている。特に現時点では、エンジンオイル等の供給面への影響を危惧している。</p> <p>【石油】 仕入れコスト上昇時には値上げ報道で消費者が買い控え、コスト減少時には値下げを迫られるという厳しい価格競争を強いられている。さらに元売による供給制限で納入不足が生じているにもかかわらず、クレームはSS側に集中するという状況が続いている。</p>
商 店 街	<p>【高崎市】 卒業式、歓送迎会があり、駅前を中心に夜は賑わいが見られた。</p> <p>【沼田市】 中東情勢の影響から原油が高騰し、多岐にわたる商品の値上がりが起きている。</p> <p>【藤岡市】 物価高騰が止まらない中、今後の中東情勢の影響を危惧。</p>
サ ー ビ ス 業	<p>【伊香保温泉】 春休みの学生を中心に、家族連れが多く訪問した。</p> <p>【草津温泉】 売上は増加したが、仕入単価、人件費の増加から収益率は変化していない。</p> <p>【四万温泉】 例年より雪が少なく売上は増加したが、原材料、燃料等の高騰で利益幅は減少。</p> <p>【美容】 年度末を機に、光熱費や原材料費の値上がりに伴う料金改定を行う店舗が増加。</p>
建 設 業	<p>【砂利採取】 資機材の値上がりは続いており、生産コストを押し上げている。納入価格の引上げを行っても、適正価格に追い付いていない。輸送力に余裕のない状態が続く。</p> <p>【塗装工事】 中東情勢の影響から、塗料用シンナーの不足や仕入価格高騰が起きている。</p> <p>【鉄骨工事】 中東情勢の影響で原油・ナフサの供給が停滞し、塗料用シンナーが品薄・高騰。工事遅延や塗料用シンナーの受注停止、出荷制限、価格高騰が発生。</p>
運 輸 業	<p>【一般貨物運送】 中東情勢の影響から、燃料の入荷危機や価格高騰に加えて、量的確保への不安、尿素水の供給不安、インタンクへの軽油配送不安が生じている。</p> <p>【貨物軽自動車運送】 食品関係、精密機械の配送は減ったが、塗料関係等の配送が増加。</p>

※本調査は、情報連絡員56人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。